

会 議 録

第13回定例会

開会 令和2年10月5日

教育委員会会議録

1 開 会 令和2年10月5日 午後1時30分

2 閉 会 令和2年10月5日 午後2時15分

3 教育委員会出席者

教育長	榎 浩一
委 員	藤本 宗子
委 員	小林 信行
委 員	河口 雅子
委 員	菊池 健次
委 員	島 隆寛

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	平井 琢二
教 育 次 長	藤本 和史
教 育 次 長	藤田 完
教 職 員 課 長	小倉 基靖
教育次長(教育政策課長事務取扱)	長町 哲治
教 育 政 策 課 副 課 長	倉橋 文代

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第44号及び議案第45号を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《協議事項1 令和3年度徳島県公立小・中学校再任用教職員（校長，副校長，教頭）選考審査要綱について》

教育長 説明を求める。

教職員課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

菊池委員：定員は決めないのか。

教職員課長：定員は未定である。退職者及び新任任用者の関係で決定する。

菊池委員：新任管理職の志望者数は減っているのか。

教職員課長：減っている。特に教頭の倍率は令和2年度は1.6倍。令和3年度はさらに下がっている。

菊池委員：若い方が目指す職であってほしい。

島委員：新任のポストの関係，年金接続との関係など，網羅的に考えないとやっていけないだろうと推察はできる。

教職員課長：校長は3倍から5倍，教頭は1.6倍となっている現状であるが，再任用の制度を利用して，全合格となるような事態は避けたい。一方で教頭に関しては，10年前は7倍程度の倍率であり，再任用管理職の制度を

導入したことで、極端に若手が登用されにくい状況になったとは言いがたい。

島委員：校長の再任用については、広い尺度の評価で決定するのがよいのではないか。

教職員課長：現職時代の実績も考慮する方針である。そのため市町村からの推薦という仕組みを取り入れている。

河口委員：校長，教頭も週5日しか勤務しないのか。

教職員課長：フルタイム勤務であるので，場合によっては週休日である土日も勤務することは考えられる。

河口委員：教頭を目指す者が少ない中，力のある管理職には引き続き勤務してほしいと思うし，その点からこの仕組みはよいと思う。

教職員課長：これまでに実績を残している方は是非勤務してほしいと考えている。

藤本委員：女性の管理職が少ない。育成する仕組みをつくってほしい。

教職員課長：この点にはここ数年県教委も力を入れている。主幹教諭研修などはその例である。マネジメントの力が育つ研修に力を入れている。

小林委員：教頭になりたいという人材が少ないのは，仕事量の多さや責任の重さなどが考えられるが，働き方改革を進めなければ抜本的な解決にはならないのではないか。

教職員課長：教頭の仕事の大変さはその通りである。その点については，校長のマネジメントや事務職員との連携で解決していく必要がある。また，負担軽減のために必要な研修を充実させる必要があると考えている。主幹教諭の研修には，そのような視点からの内容も取り入れている。一方で教頭を希望しない理由には，子どもたちと接する時間がなくなるなどの理由も多いようだ。

藤本委員：事務的な内容が増えるのが，負担となっているのか。

教職員課長：学校には事務職員もいるが，その上にいるのが教頭なので確かにその側面もあると思うが，それよりは子どもと接する機会が減るなどの要因の方が大きいようだ。

藤本委員：30人学級との関係はあるのか。

教職員課長：関係ない。

島委員：徳島は民間人を管理職に任用しないのか。

教職員課長：徳島にも以前は民間人校長の制度があった。現在は1人もいない。

藤本委員：河口先生は，大学生に指導する立場であり，生き生きして勤務されている。適材適所で勤務していただくことが最もよいと考えられる。

河口委員：子どもとの接触が減ることは大きいことだが，その学校の管理職からの後押しが重要だ。担任としての接触は減るが，違う立場でより多くの子ども

たちと関わることのできる魅力を伝えていくべきだ。

小林委員：組織の中で、誰かが上に立ってリードしていかななくてはいけない。自分だけはずっと子どもたちのそばでいたいということは甘えであることを伝えていく必要がある。

教職員課長：現在の徳島の学校管理職の制度は、任用審査を突破した者が管理職となるシステムになっている。希望しない者を無理に管理職にあげることはできない。

小林委員：管理職の制度は変わることはないのか。

教職員課長：神戸市は今年度変更したようだ。

島委員：管理職を目指す者には、早い段階で見極めた上でそのコースに進むよう教育していく必要があると考える。

教育長 協議事項1を議案第46号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第46号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第46号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《議案第44号 学習者用コンピュータの購入契約について》

《議案第45号 充電保管庫の購入契約について》

[閉会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉会 午後2時15分